

第1回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会 会議録

会議名	第1回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会		
日時	令和3年7月21日（水）午後3時00分～午後5時10分		
場所	橋本市民会館第3AB会議室		
出席者	委員 (敬称略)	堀内 秀雄 平家 利也 井澗 千恵子 是枝 美海 上田 ひと美 中谷 維志	乾 幸八 田村 亜美 玉井 勝代 森川 嘉久 岸田 昌章 東 美樹
			前田 陽一郎 森田 知世子 佐藤 陽子 今田 実 戸島 浩子 平田 敬二 【出席委員：18名】
欠席者	委員 (敬称略)	【欠席委員：0名】	
事務局		総合政策部長 上田 力也 政策企画課長 中岡 勝則 政策企画課長代理兼地域振興係長 前川 朋久 地域振興係主査 上原 慎太郎 地域振興係副主査 乾 沙也香	
次第	<p>1. 開会</p> <p>① 市長挨拶</p> <p>② 委員自己紹介</p> <p>2. 議事</p> <p>① 委員長、副委員長の選出及び挨拶</p> <p>② 橋本市の自治と協働をはぐくむ条例の説明</p> <p>③ 橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会の説明</p> <p>④ グループ分け</p> <p>3. その他</p> <p>① 今後のスケジュール</p> <p>② その他</p> <p>4. 閉会</p>		
資料	<p>資料1 橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会 委員名簿</p> <p>資料2 メッセージカード</p> <p>資料3 橋本市の自治と協働をはぐくむ条例 パンフレット</p> <p>資料4 橋本市の自治と協働をはぐくむ条例及び委員会パワーポイント</p> <p>資料5 橋本市の自治と協働をはぐくむ条例に関する提言書</p> <p>資料6 スケジュール（案）</p>		

1. 開会

① 市長挨拶

- ・子どもの貧困、児童虐待など子供を取り巻く環境が非常に厳しいものとなっている。高齢化も33%を超えており、今後区、自治会の運営も難しくなってくるのが考えられる。行政の運営についても今までのような一律のサービスは難しくなってくる。
- ・現在第二層支援協議体や地域で介護予防等を行っていただいているが、はぐくむ委員会においては、地域運営組織をつくることが大変重要になってくる。住み慣れた地域で、子どもから高齢者まで地域全体で支え合いながら、安心安全な生活を送れるまちを目指していきたい。
- ・市内でも民間企業と協定を結ぶなど新たな取り組みを始めている。
- ・避難所運営もコロナ禍により、変わってきている。避難所運営にも地域の連携、地域コミュニティが大切になってくる。そういう意味でも、はぐくむ条例は大切である。
- ・ソフト面については地域の皆さんと一緒にまちづくりについて考えていきたい。未来を見据えたまちづくりをしっかりと行っていきたいと考えているので皆さんのご協力をお願いしたい。
- ・12歳から15歳のワクチン接種は慎重に考えていきたいと思っている。ワクチンを打てない人の対応についても考えていく。
- ・はぐくむ条例は橋本市を未来に進めていく大切な条例です。たくさんのご意見をいただいて、この高齢化する橋本市のまちづくりにご協力いただけるようお願いしたい。

② 委員自己紹介

メッセージカードを見ながらひとり30秒、五十音順で自己紹介を行った。委員自己紹介の後、事務局も自己紹介を行った。

2. 議事

① 委員長、副委員長の選出及び挨拶

委員提案により委員長に堀内秀雄氏、副委員長に乾幸八氏が選出された。

委員長挨拶

- ・情報共有、市民参画、協働のまちづくりを合言葉に橋本市を「自治と協働で元気なまち」にすることを目指します。

- ・委員会そのものが自治と協働のプラットフォームとなります。
- ・委員会の雰囲気は、だれ一人取り残さない、複眼思考で多彩な視野をもつ、学び合い、語り合いの場になるように全員「あ・うん」の呼吸で協力して支えていきましょう。

副委員長挨拶

- ・第一期はコロナにより地域への広報がなかなか進まなかったが、委員長を中心として、今期は具体的に進めていけると確信を持っています。皆さんよろしくお祈りします。

② 橋本市の自治と協働をはぐくむ条例の説明

事務局よりパワーポイントを用いて説明を行った。

【委員質問なし】

③ 橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会の説明

事務局よりパワーポイントを用いて説明を行った。

その後、堀内委員長より、橋本市の自治と協働をはぐくむ条例に関する提言書について説明があった。

【委員質問なし】

④ グループ分け

第一期はぐくむ委員会では、情報共有、市民参画、協働のまちづくりの3グループに分けて、活動を行った。第二期はぐくむ委員会はグループ分けを行うか、行うのであれば、どのような分け方にするのか、協議した。

【委員意見】

- ・グループに分けた方が話しやすいのであれば、分けた方が良い。
- ・第一期でグループ分けを行い、グループで煮詰めた部分があると思うので、そちらを、さらに高めていくためにも、グループ分けが良いと思う。
- ・今グループに分けるのではなく、はぐくむ委員会で中心的に議論するものを定めてから、分けた方が良いのではないか。
- ・第一期も煮詰まっていなかったもので、とりあえずグループ分けし、その中でどこへ重点を置くかはグループに任せても良いのでは。
- ・第一期はすぐにグループ分けをせずに、少し全体で話してから、グループに分かれた。第二期も第1回会議で決めずに次回決めればよいのではないか。

3. その他

① 今後のスケジュール

スケジュール案について事務局より説明。

【委員意見】

- ・スケジュールにある予定は、行政の手伝いみたいなものばかりではないか。
- ・今後の目標として、地域運営組織の設立があると思うため、地域運営組織のスケジュールについても提示された方が、考えやすいのではないか。
- ・地域運営組織の話は分かるが、別に地域運営組織の会があるのでこちらで決めることではないのではないか。
- ・スケジュールを見ると、簡単に実行できるものばかりではないため、優先順位をつけ、今年難しいものは来年に回すなど工夫が必要ではないか。
- ・第一期では委員会とは別に集まったと思う。そこで仲良くなれたということもあった。行政主導ではない強制参加でもない、委員自主開催のミーティングを8月頃に行う。
- ・第2回会議までに委員へ簡単なアンケート（何をやりたい・グループ分けをどうするか）をとり、会議の資料とする。
- ・8月の広報原稿は事務局でベースを考え、何人かの委員にも見てもらう。

② その他

- ・FMはしもとへはぐくむ条例や委員会の周知ができないか相談した際に、未来の橋本について語るコーナーや番組がないので作ろうという話になった。金曜朝の向井景子さんの番組の9時15分から9時45分の30分間はぐくむ委員がリレー形式で出演させてもらっている。新しい委員さんもぜひ出てもらえたら。
- ・第二期メンバーでメッセージアプリを利用したグループを作成しては。必要な情報を共有する場として利用したい。
- ・地域福祉計画の策定及び見直し等を行う橋本のくらしの幸せをつくる委員会で報告のあったアンケートで、橋本市に愛着があるかという項目への回答理由が、愛着がある方もない方も周囲の人との関係性を理由に挙げており興味深かった。これらアンケート結果をこちらの会でも活かせるのではないか。

4. 閉会

以上

【会議録署名欄】

委員長

堀内秀雄

【会議録署名欄】

委員

乾 幸八 

【会議録署名欄】

委員 平田敬二